

第1回自動車運送業分野 特定技能協議会 資料

公益社団法人 日本バス協会

令和7年8月26日

日本バス協会の取り組み

○外国人運転者受入推進部会の活動

2023(令和5)年9月、「外国人運転者受入推進部会」(部会長：東急バス(株)古川社長)を設立。

・これまでの開催状況(主なテーマ等)

- ①令和5年10月11日(特定技能制度に関する課題整理)
- ②令和5年11月 6日(特定技能に係る試験、大型二種免許取得について)
- ③令和5年12月 5日(特定技能に係る試験、外免切替について)
- ④令和6年 2月19日(制度創設の進捗状況、受入れ体制・ステップについて、特定技能試験問題素案の検討)
- ⑤令和6年 4月15日(特定活動期間における課題について)
- ⑥令和6年 9月 4日(特定技能評価試験、2種免許学科試験の多言語化、部会メンバーの取組状況報告)
- ⑦令和6年11月13日(特定技能先行他団体からの講演、部会メンバーの取組状況報告)
- ⑧令和7年 2月21日(外国人新任運転者研修の効果測定基準について、部会メンバーの取組状況報告)
- ⑨令和7年 4月 7日(日本語レベルをN3からN4とすることについて)
- ⑩令和7年 7月17日(日本語能力要件の緩和に係る検討状況、外国人新任運転者研修の修了証書交付要領)

○外国人バス運転者に関する説明会の開催

2024(令和6)年7月8日に外国人バス運転者に関する説明会をWebにて開催。全国から250名を超えるバス事業者が参加。当日は、国土交通省からの制度概要説明に続き、日本バス協会から制度・手続きに関して説明。また、登録支援機関6団体から外国人材の受入れに係る同機関の役割等について説明。

○外国人バス運転者の受入れに係る要望

円滑な受入れが促進されるよう、主に以下について要望

- ・日本語能力要件について、「N3」から「N4」へ変更すること
- ・日本語能力試験(JLPT)の試験回数増や、JLPT以外の日本語試験も日本語能力判定に活用すること
- ・長期化している運転免許試験場における外免切替手続期間を短縮すること
→自動車運送業の特定活動外国人にかかる優先的な申請受理について措置済み